

秋恒例のデザインイベント 今年のテーマは「**みらいのアイデア**」
「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2018」
芝生広場が、変幻自在の“**みらいの公園**”になる
「PARK PACK by ULTRA PUBLIC PROJECT」開催！

10月19日(金)～11月4日(日)

東京ミッドタウン(港区赤坂 / 事業者代表 三井不動産株式会社)は、秋のデザインイベント「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2018」(東京ミッドタウン デザインタッチ)を、2018年10月19日(金)から11月4日(日)まで開催いたします。



▲コンテナを開くと遊び場に変化する PARK PACK(イメージ)



▲PARK PACK をシネマイベントで使用することも可能(イメージ)

「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH」は、“デザインを五感で楽しむ”をコンセプトに12回目の開催を迎えます。今年のテーマは、「**みらいのアイデア**」。国内外の第一線で活躍・注目されるデザイナーやデザインが集結し、デザインの魅力や可能性を身近に体感いただけるイベントとして進化を続けていきます。

「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2018」主なイベント

PARK PACK by ULTRA PUBLIC PROJECT

組み立てるとテーブルや椅子になるツールなどがコンテナに収納された「PARK PACK」。芝生広場が「PARK PACK」によって遊び場やシネマに変化します。新しい公園の可能性を探っていくプロジェクトです。

Swell

ミッドタウン・ガーデンに風と光を可視化するインスタレーションが登場します。

DESIGN TOUCH CONFERENCE by 東京ミッドタウン・デザイン部

幅広い領域の最前線にいるクリエイターが、「みらい」を生み出すデザインやアイデアを語る10のトークセッション。

未来の学校 powered by アルスエレクトロニカ —GOODBYE WORK 展—

東京ミッドタウンと世界的クリエイティブ機関「アルスエレクトロニカ」が協働する「未来の学校」。「みらいの働き方」をテーマに、エキシビションなどを開催します。

Salone in Roppongi Vol.6 2018

イタリア・ミラノで毎年開催される世界最大のデザインイベント「ミラノ・サローネ」の賑わいを六本木で感じていただく、恒例イベント。今年は、3m×3mのテントを使用し、クリエイターがデザインの楽しさと可能性を表現します。

■掲載時の一般の方のお問い合わせ先■ 東京ミッドタウン・コールセンター TEL : 03-3475-3100

■東京ミッドタウンホームページ■ www.tokyo-midtown.com

パーク パック バイ ウルトラ パブリック プロジェクト
PARK PACK by ULTRA PUBLIC PROJECT

今年のデザインタッチのテーマは、「みらいのアイデア」。このテーマのもと、ULTRA PUBLIC PROJECT が「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH」のメインイベント「PARK PACK」をプロデュースします。

組み立てるとテーブルや椅子になるツールなどがコンテナに収納された「PARK PACK」。芝生広場が「PARK PACK」によって遊び場やシネマに変化します。本イベントの期間を通して、「みらいの公園」について考え、公園の可能性をいくつも提示していく実験的な取り組みを、東京ミッドタウンを会場に初めて開催します。

【期 間】 10月19日(金)～11月4日(日)

※雨天荒天中止

【場 所】 ミッドタウン・ガーデン及び芝生広場

【主 催】 東京ミッドタウン

【制 作】 ULTRA PUBLIC PROJECT



▲東京ミッドタウンの芝生広場に登場する「PARK PACK」
コンテナに収納されているツールを組み立てると椅子やテーブルになり、
みんなが「集まる」場所を自由に作る事ができる“みらいの公園”を提案します
(※画像はイメージ / 仕様は変更になる場合があります)



▲期間中、次世代型電動車椅子(パーソナルモビリティ)WHILLで移動できるイベントを開催予定
【機材協力:WHILL株式会社
企画協力:インキュビオン株式会社】



<ULTRA PUBLIC PROJECT>

Rhizomatiks Architecture、ティー・ワイ・オー、電通ライブの3社のメンバーで立ち上げたユニット。本企画では新たに、日建設計、プロペラ・アンド・カンパニーが加わる。
“We are the city.”の旗印の下、ハード面の開発ではなくさまざまなソフトウェアの力で街づくりを考えて提案してゆく。

あたらしい公園を、つくろう

「PARK PACK」パートナー募集

「公園やパブリックな場所で、自社のテクノロジーを実験したい。」

「公園をもっと自由にスポーツができる場にしたい。」

「公園を美術館にしたい。」

「公園を新しいビジネスマッチングの場にしたい。」

など、「PARK PACK」では、未来の公園づくりのパートナーを募り、共にあたらしい公園のカタチや可能性を作っていきます。

【詳細はこちら】 <http://ultrapublic.jp/parkpack/>

【問い合わせ先】 parkpack@dentsulive.co.jp

ミッドタウン・ガーデンに風と光を可視化するインスタレーションが登場します。ミラノ・サローネでも活躍する「we+」(ウィープラス)が、メッシュを使用した作品を制作します。メッシュが風を受けてたなびくと、しなやかな曲線が生まれ、風が可視化されます。メッシュに反射する光にも変化が生まれ、まるで生きものが呼吸を楽しんでいるような、軽やかで心地のよい空間をつくりだします。

新技術や新素材からの発想だけではなく、ものの見方や使い方を少し変えることで新しさを感じることができる“みらいのアイデア”の提案です。

- 【期 間】 10月19日(金)～11月4日(日)
- 【時 間】 11:00～21:00 ※雨天荒天中止
- 【場 所】 ミッドタウン・ガーデン
- 【参加費】 無料
- 【主 催】 東京ミッドタウン
- 【制 作】 we+
- 【協 力】 株式会社 NBC メッシュテック



▲イメージ

<we+(ウィープラス)>

林登志也と安藤北斗により2013年に設立された東京を拠点に活動するコンテナラニーデザインスタジオ。プロダクト・インスタレーション・グラフィックなど、多岐にわたる分野でディレクションとデザインを行ない、特殊素材やテクノロジーを活用した実験的なアプローチを追求。海外のギャラリーでの作品発表のほか、クライアントとの協業により、既存の枠にとらわれないデザイン活動を手がけている。



デザイン タッチ カンファレンス DESIGN TOUCH CONFERENCE by 東京ミッドタウン・デザイン部

東京ミッドタウン・デザイン部は、東京ミッドタウンの街や日常生活を「デザイン」という視点から再発見し、東京ミッドタウンでの生活や仕事をもっと楽しむための活動です。

DESIGN TOUCH CONFERENCE では、今年の「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH」に関わるクリエイターをはじめ、さまざまな領域の最前線で「みらい」を生み出すクリエイターが登場します。

デザインやクリエイティブが、私たちの生活や社会、そして考え方をより良い方向にどう変えていけるのかについてトークを行います。

- 【期 間】 10月26日(金)～10月29日(月)予定
※期間中、10コマのトークセッションを開催予定
- 【申し込み】 「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH」特設サイトで
10月上旬より内容詳細発表・申し込み開始
- 【場 所】 東京ミッドタウン・デザインハブ
東京ミッドタウン カンファレンスなど
- 【主 催】 東京ミッドタウン・デザイン部



パワードバイ
未来の学校 powered by アルスエレクトロニカ —GOODBYE WORK展—
グッバイワーク

「未来の学校」とは、東京ミッドタウンと世界的なクリエイティブ機関「アルスエレクトロニカ」が協働し、イベント参加者とともに未来の社会を考えるイベントです。3回目となる今回のテーマは「みらいの働き方」。

人生 100 年時代に入り、AI によって替わられる職業が話題になるなど、多様化する働き方。場所や時間・職業にとらわれない働き方が、今後ますます広がっていくことを見据え、私たちの選択の可能性が広がる未来の仕事や働き方について、アート作品を通じて考えます。

- 【期 間】 10月26日(金)～11月4日(日)
- 【場 所】 東京ミッドタウン館内モニター
- 【主 催】 東京ミッドタウン
- 【協 力】 アルスエレクトロニカ



▲“Kitty AI” by Pinar Yoldas
「子猫の姿の AI が政見放送をする 2039 年」を
テーマに映像作品が放映される

《アルスエレクトロニカとは》

アルスエレクトロニカは、オーストリアのリンツ市を拠点に40年近く「先端テクノロジーがもたらす新しい創造性と社会の未来像」を提案し続けている世界的なクリエイティブ機関です。毎年開催されるメディアアートに関する世界的なイベント「アルスエレクトロニカ・フェスティバル」は、芸術・先端技術・文化の祭典として知られています。

同イベントの実施の他、メディアセンターや美術館、博物館としての機能を持つ「アルス・エレクトロニカセンター」や、芸術や技術の制作や研究を行なう施設「アルスエレクトロニカ・フューチャーラボ」を通して、アート、テクノロジー、そして社会を繋ぐ様々な出会いの場を創造し、それらを横断することで生まれる「未来」を具体的な形にして社会に提案しています。

《東京ミッドタウンとアルスエレクトロニカの取り組み》

東京ミッドタウンは10年に向けた新たな取り組みとして、2017年よりアルスエレクトロニカとの共同プロジェクトを実施しています。同機関との協働によって、より豊かで持続可能な未来の社会を形作るための様々なアイデアやイノベーションが次々と発信され、それに人々が触発されていく、東京ミッドタウンがその「場」となることを意図しています。「未来の学校」は、未来の社会をイベント参加者とともに考えていくイベントです。



サローネ イン ロッポンギ
Salone in Roppongi vol.6 2018

イタリア・ミラノで毎年開催される世界最大のデザインイベント「ミラノ・サローネ」の賑わいを六本木に！を合言葉に展開している Salone in Roppongi。世界で注目を集め活躍する日本人クリエイターとデザインでコミュニケーションします。

2018 年は今年の「ミラノ・サローネ」にも参加した建築家の家所亮二氏が、「芝生のある空間」にデザインの楽しさと可能性を追求した美しくプリミティブな世界を作り出します。

- 【期 間】 10月19日(金)～11月4日(日) ※雨天荒天中止
- 【場 所】 ミッドタウン・ガーデン
- 【主 催】 Salone in Roppongi 実行委員会
- 【協 力】 今泉テントほか
- 【参加クリエイター】 家所亮二(建築家)



Salone in Roppongi

東京ミッドタウン アワード
Tokyo Midtown Award 2018 受賞作品発表・展示

東京ミッドタウンのコンセプトでもある「JAPAN VALUE(新しい日本の価値・感性・才能)」を創造・結集し、世界に発信し続ける街”を目指す活動の一環として始まった、今年で11回目を迎える「Tokyo Midtown Award」。次世代を担うアーティスト、デザイナーの発掘と応援を目的に、2018年も〈アートコンペ〉〈デザインコンペ〉の2部門で作品を募集しました。全応募作品の中から計16作品を選出し、「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2018」期間中に、受賞作品の発表・展示および授賞式を実施します。

■ **Tokyo Midtown Award 2018 受賞作品発表**

【日 時】 10月19日(金)
※審査結果はホームページ等を通じて発表します

■ **Tokyo Midtown Award 2018 授賞式**

【日 時】 10月19日(金) 16:30~17:30(予定)
【場 所】 プラザ B1 意心帰前 特設会場
※一般の方の見学可能です

■ **作品展示**

【日 時】 10月19日(金)~11月11日(日)
【場 所】 プラザ B1
【展示作品】 Tokyo Midtown Award 2018 受賞及びファイナリスト作品(16点)
※期間中は一般投票で人気作品を選出する「オーディエンス賞」も実施します
※デザインコンペの受賞作品は展示終了後も約1年間、東京ミッドタウン館内に展示します



▲昨年の授賞式の様子

グッド デザイン エキシビション
GOOD DESIGN EXHIBITION 2018 ~2018年度グッドデザイン賞受賞展~

GOOD DESIGN EXHIBITION 2018は、「Gマーク」で広く親しまれているグッドデザイン賞の受賞デザインを紹介するイベントです。

2018年10月に発表となる最新のグッドデザイン賞受賞デザイン、1,000件以上がいち早くご覧いただけるほか、第一線で活躍するデザイナーによるトークイベント、ロングセラーデザインに贈られる「ロングライフデザイン賞」やアジア・アセアン地域のユニークなデザインの展示などを開催。会期中は、受賞商品を販売するスペシャルショップもオープンするほか、今年のデザインオブザイヤーとなる「グッドデザイン大賞」が発表されるなど、私たちの暮らしをつくる「グッドデザイン」を楽しく体感できる5日間です。



【期 間】 2018年10月31日(水)~11月4日(日)
【場 所】 東京ミッドタウン・ホール、アトリウム、
キャンピースクエア、東京ミッドタウン・カンファレンス、
デザインハブ、3F 通路スペース
【時 間】 11:00~20:00 ※最終日は18時まで
【料 金】 1,000円(大学生以下無料) ※一部無料エリアあり
【主 催】 公益財団法人日本デザイン振興会



▲昨年の会場の様子

NTTドコモ デザイン展

ドコモのプロダクトデザインへのこだわり。それは使う人を想い、理想に少しでも近づけるための試行錯誤をくりかえすこと。そんなモノづくりへの姿勢を表現した展示を、今年も開催します。

あなたが日々ふれているスマートフォンやケータイへの、見方が変わるかもしれません。

【期 間】 2018年10月19日(金)~10月28日(日)
【場 所】 アトリウム
【料 金】 無料
【主 催】 株式会社 NTTドコモ

同時開催イベント

「京都・醍醐寺—真言密教の宇宙—」

京都にある醍醐寺は、真言密教の拠点として、古くから歴史の表舞台で重要な役割を果たしてきた名刹です。今回の展覧会では国宝・重要文化財に指定された仏像や仏画を中心に、普段は公開されない貴重な史料・書跡を通じて、平安時代から近世にいたる醍醐寺の変遷を辿ります。また桃山時代に豊臣秀吉が行った「醍醐の花見」や、三宝院の襖絵など、醍醐寺をめぐる華やかな近世美術も鑑賞できる貴重な機会となります。

- 【期 間】 2018年9月19日(水)～2018年11月11日(日)
※展示替あり
- 【場 所】 サントリー美術館 東京ミッドタウン・ギャラリー 3F
- 【時 間】 10:00～18:00 ※金・土は20:00まで(入場は閉館の30分前まで)
- 【料 金】 一般1,500円、大学・高校生1,000円、
中学生以下は無料※20名様以上の団体は100円割引
<前売>一般1,300円、大学・高校生800円
- 【主 催】 サントリー美術館、総本山醍醐寺、日本経済新聞社、
テレビ東京、BSジャパン



国宝 文殊渡海図 鎌倉時代 13世紀
画像提供: 奈良国立博物館 撮影: 佐々木香輔
醍醐寺蔵

「新・ケータイ INFOBAR (インフォバー) 展」

2003年10月の初代 INFOBAR 発売から15周年を記念した携帯電話「INFOBAR xv」が今秋登場。発売に先駆け「INFOBAR xv」を特別にご体験いただける展覧会を開催します。歴代 INFOBAR の展示や INFOBAR オリジナルグッズのお披露目も予定しています。

- 【期 間】 2018年10月31日(水)～11月12日(月)
- 【場 所】 21_21 DESIGN SIGHT ギャラリー3
- 【時 間】 10:00～19:00
- 【料 金】 無料
- 【主 催】 KDDI 株式会社



「民藝展」(仮)

1925年、民衆の用いる日常品の美に着目した柳宗悦は、無名の職人達がつくった民衆の工芸を「民藝」と名づけました。本展では、民藝運動の本拠として1936年に東京・駒場に開設された日本民藝館の活動もふまえながら、現代のデザインに通じる「民藝」の姿を、その根底にある思想とともに紐解いていきます。

- 【期 間】 2018年11月2日(金)～2019年2月24日(日)
- 【場 所】 21_21 DESIGN SIGHT ギャラリー1&2
- 【時 間】 10:00～19:00 (入場は18:30まで)
- 【料 金】 一般1,100円、大学生800円、高校生500円、中学生以下無料
- 【主 催】 21_21 DESIGN SIGHT、公益財団法人 三宅一生デザイン文化財団